

令和時代の働き方とは？ テクノロジー活用とは？

～平成を駆け抜けた、元リクルート三名が語る、過去、現在、そして未来～

平成とはどういう時代だったのか？令和はどのような時代になっていくのか？
働き方改革のステージが一段と進み、空前の人出不足が進行する中、総務の未来はどうあるべきなのか。
RPA、AIなどのテクノロジーの進化は、総務の救世主足りうるか、はたまた諸刃の剣か。
平成元年にリクルート社に入社した「元リク」3名が、令和時代の働き方を見据え、
「総務」「オフィス」「テクノロジー」について語り尽くす白熱の120分。お見逃しなく！



月刊総務
豊田 健一



ディップ株式会社
本間 忠俊



DE-SIGN グループ
佐藤 浩也

10.29 TUE
16:00~
ディップ株式会社 (本社)

月刊総務 代表取締役社長・編集長 豊田 健一

日本で唯一の総務の専門誌『月刊総務』編集長。毎月、総務の専門家、有識者、最新企業事例を取材し、日本で最も多く、総務の現場を知っている総務の専門家。自身もリクルートで総務を経験、魚力で総務課長の経験もあり、総務経験を通じての講演は、多くの総務担当者から共感を得ている。総務業界の活性化を目指し、「戦略総務」という考えを、どのように実践していくか、現在進められている働き方改革をどのように総務として進めていくべきかを大局の見地から解説する講演は、総務担当者にとって多くの気づきを提供。自身の著作、『マンガでやさしくわかる総務の仕事』、『経営を強くする戦略総務』は総務担当者のバイブル的存在となっている。

ディップ株式会社 総務統括部長 本間 忠俊

1989年株式会社リクルート入社。同社で7年余り総務を担当。その後2社を経て、2005年2月にディップ株式会社に入社、同年3月から総務部長を務める。2006年の新卒200人採用に伴うオフィス拡張をはじめ、その後の同社の成長を総務として支える。2013年に同社が東証一部上場を成し遂げたことを契機に退職。2014年6月から株式会社メディアドゥで人事総務部長。2016年6月にディップ株式会社に総務室長として復帰。2017年の本社移転などを担当。2018年3月から現職。

DE-SIGN グループ 代表 佐藤 浩也

元株式会社リンクアンドモチベーション取締役、現在株式会社 DE-SIGN グループ代表取締役社長ほか複数の役職を兼ねる。1989年株式会社リクルート入社以来、日本オラクル、明豊株式会社、独立起業、リンクアンドモチベーション参画と、変化の激しい環境の中、M&A、IPO、MBOを含む様々な経験を積む。1998年の起業を機に、日本のオフィス業界において初めてプロジェクトマネジメントサービスを手掛ける。所属した日本オラクル、リンクアンドモチベーションにて構築したオフィスにて、日経ニューオフィス賞：通商産業大臣賞（1994）、経済産業大臣賞（2001）を受賞。ワークプレイス・ワークスタイルをテーマとしたコンサルティングにて多くの実績を有する。

日時：2019年10月29日(火)

16:00~18:00
18:00~懇談会

会場：ディップ株式会社(本社)

東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー 31F
東京メトロ南北線
「六本木一丁目」下車 徒歩1分



定員：60名

タイムテーブル 司会進行：小松路世 (株式会社ミライズ)

15:30 開場
16:00 開会
パネルディスカッション
質疑応答
18:00 懇親会

共催：



株式会社月刊総務



ディップ株式会社



株式会社 オフィスの広場

お申し込み【事務局】

メールアドレス
soumu.kikaku.2019@gmail.com

後援：SparkUp